

創業二百年余年、第19代内閣総理大臣原敬が命名し、マッカーサーが愛した酒



寛政元年(1789年)、瀬頭酒造株式会社「東長」は初代、瀬頭多次兵衛が「丸平正宗」の銘柄で佐賀県嬉野市塩田町の地で創業。大正9年法人化をきっかけに「東長」を発売。



「東長」を命名したのは、当時の政友会総裁で首相であった原敬氏。酔い心地のさわやかさ、おおらかさを「アツマの国のオサ、すなわち東洋の王者にふさわしい」と命名した由緒あるお酒。



昭和20年、戦後混乱期の日本でGHQ総司令部主催によるパーティーが開催され、佐賀有田の陶工である十二代酒井田柿右衛門も招待される。柿右衛門は親交の深かった瀬頭平八のところへ立ち寄り、道中用で東長を手列車へ乗り、車中で飲み切れず、十二代は、酒を持ったままGHQパーティーに出席し、それがマッカーサー元帥の目に留まり、マッカーサーに気に入られ、GHQの指定商品になりました。

純米 東長

佐賀県産米(レイホウ等)と多良岳山系の清冽な水だけを使い、9号酵母で造ったお酒。伝統的な三段仕込みにより、米の旨みと芳醇な香りが調和した、キレのある純米酒。



原料米	レイホウ
精米歩合	68%
日本酒度	-4
酸度	1.7
アルコール度	15%

醸造元

瀬頭酒造有限公司

〒849-1425

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田甲三一七番地

電話 0954-66-2014(代)